

64期生

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2015年10月19日(月) No.24

「ふれ愛子どもカーニバル」に向けて

先週末は中間テストということで、それまでの一週間はクラブ活動が休みになったり、放課後の学習会に参加して学習などをしていた日々でした。そして今週からは、いよいよ「ふれ愛子どもカーニバル」にむけて本格的に準備をしていきますが、その前にまずはここまでの流れをおさらいしましょう。

6日(火)の学年朝礼では、2年の先輩たちが3人来ていただいて、先輩たちが1年前に行った「ふれ愛子どもカーニバル」の体験談や大事だと思ったことについて話していただきました。その中には、

『ゲームの内容は、子どもの年齢によって遊びやすいようにルールを工夫した』

『小さい子どもたちの目線にあわせ、笑顔で接する』

『楽しませる立場なので、しっかり自覚をもって取り組みましょう』

などのありがたい言葉をいただきました。

続いて、9日(金)の6限の聞き取り学習では、豊中人権まちづくりセンター児童館の小山さんに来ていただき、カーニバルに向けての心構えなどを話していただきました。「気持ちのキャッチボール」では、本物のボールをつかって、わかりやすく説明されていましたね。そして、『楽しむ・失敗OK・聴く・いいとこさがし』の4つを大事にして取り組みましょうと話されていました。そのため、この後の時間に書いた感想文では、「失敗OKという言葉に、失敗しても大丈夫という安心した気持ちになれた」ということがよく書かれていました。不安だった気持ちが少しは解消され、ふれ愛子どもカーニバルに向けての準備ができそうです。

また、これまでの間、昼休みを中心にカーニバル実行委員会が何度も開かれ、そこで話された内容について、学年朝礼で議員や実行委員から話をする機会がありました。ここでは、カーニバルのスローガンは、『楽しむ・楽しませる・協力する』で、目標は『笑顔』です。そして、カーニバルを成功させるために普段の取り組みとしては、「人の話を聞く」「チャイム着席をする」を大事にすることと話がありましたが、もちろん頑張るのはカーニバル実行委員だけではありません。64期生の一人ひとりが意識して取り組み、素晴らしいふれ愛子どもカーニバルにしていきたいと思います。

そして、いよいよこれからのことについて話していきますが、今週からはいよいよゲームを作成する作業にうつっていきます。それぞれ小さい子どもが楽しめるようにゲーム内容を工夫したり、もらって嬉しい景品を作っていきます。

テラスにある芝生について

4月に入学した頃、テラスにある芝生のところには、ほとんど芝が生えていませんでした。その状態から、環境美化委員の生徒や用務員さんが水やりなどをしてくれたおかげで、今では立派な芝生となりました。その途中、芝生の中に勝手に入って暴れてケガをした生徒がいましたが、そんなことにならないよう、しっかりルールを守って、過ごすようにしましょう。いよいよ芝生開放です。

ルール

- 1、大切に使う
 - ・走らない
 - ・穴を掘らない
 - ・草を抜かない
- 2、人に迷惑をかけない
 - ・暴れまわらない
- 3、草や土を持って入らない
 - ・グリーンマットでしっかり土を落とす

今後の学校生活について

ここまで、「テストが終わった」「ふれ愛子どもカーニバルにむけての準備が始まる」「芝生が開放される」などを書いてきましたが、これからの学校生活を過ごしていく上で、君たちがこれまでの学校生活で大事にしてきた「教室などはきれいにする」「チャイム着席をする」「授業中は静かに受ける」ということは変わりません。ただ、「紙飛行機を飛ばす」「授業開始のチャイムが鳴ってからトイレに行く」「授業中、立ち歩いたり、大きな声を出してしゃべる」「立ち入り禁止のところに入る」など、全員がしているわけではないですが、心配な様子があります。安全・安心な学校生活が過ごせるよう、一人ひとりが心がけることはもちろん、みんなにとって居心地のいい学校に64期生全員でしていくよう、協力していきましょう。

→裏へと続く

小山さんからの聞き取り（生徒の感想）

1組

- 言葉のキャッチボールを意識して、みんなと会話できたらいいと思った。小さい子とは目線を合わせて、こわくないようにしてあげたい。いろんな人と触れ合って、とってもいいカーニバルにしたいです！
- 今日、聞いた話を踏まえて、カーニバルをもっとより良いものにしていきたい。「やっとおわったー」というカーニバルより、「もうおわりかー。楽しかったなー」というカーニバルにしていきたい。
- 今まで失敗は絶対にしてはいけないと思っていたけど、今日の話でそんなことはないと思った。それと、相手の目を見て話すのは大切だと思った。ふれ愛子どもカーニバルの話は、小さい子どものことはあまり知らないし、あまり好きとは思ったことないけど、頑張ろうと思った。

2組

- 小さい子に、「楽しかったなー」と思ってもらえて、自分たちも楽しかったと思えるようなカーニバルにしたいと思いました。会話のキャッチボールも、本当のボールを使っていて、わかりやすかったです。
- 今日話を聞いてやろうと思ったことは、自分が役にあたっているときは、いろいろに優しく接し、困っている人を見かけたら、すぐ相談にのってあげる。いろいろなことを心がけて、楽しいカーニバルにしたいです。
- 自分がお客さんで行ったときに、優しく対応してもらえたりしたから、今度は自分がその人たちのようになって、楽しんでもらいたいと思う。来てくれた人全員が笑顔で帰れるように心がけたい。

3組

- 今日の小山さんの話を聞いて、ふれ愛子どもカーニバルでどうやって年下に接して、自分らも楽しくしていくかという方法がわかりました。「楽しむ」「失敗OK」「聞く」「良いところ探し」、この4つのことに言葉のキャッチボールを大切に、ふれ愛子どもカーニバルを頑張っていきたいです。
- 「楽しむ」「失敗OK」「聞く」「良いところ探し」の4つがとても大切ということを教えてもらいました。カーニバルでは、小さい子どもの目線にそろえないと、気持ちのキャッチボールができないので、実際にした方がいいと感じました。カーニバル、頑張りたいです。

- 「ふれ愛子どもカーニバル」は、いろんな思いがあってやっているんだと思いました。小さい子には目線を合わせる、手は前で組むなど、大切なことを教えてもらいました。教えてもらったことを本番にいかそうと思います。小さい子にはやさしくして、楽しんでもらえるようにしようと思います。みんなに楽しんでもらえるように、いろいろと頑張ろうと思います。

4組

- 今日はキャッチボールのことなど、タメになることばかりを教わりました。人は違うところをひどくいうか、やさしくいうかでちがってきます。「みんなちがってみんないい！」こういうことなんだなと思いました。次のカーニバルは、お客様が楽しめるような感じのいい店にしたいです。
- はみごや仲間外れなどのことを聞き、もし自分がされたらいやだなとか、したくないと思いました！！話すときは下を向いたり、めんどくさそうにするんじゃなく、相手の目を見て、はっきりと話し、聞くときは相手が話しやすい環境を作ったら、いいんじゃないかと思いました！
- 一番心に残っているのは、失敗OKです。僕も失敗している人を責めたり、失敗を責められたりしたことがあるので、OKというのを実行しようと思いました。カーニバルも大成功といえるよう、頑張ります。